




GIGA スクール時代における読み書きに困難を抱える 児童・生徒への学習支援

通常の学級に在籍する児童生徒の 3.5%が読み書きに著しい困難を示すと令和4年実施の文科省の調査で報告されています。このような児童らに対して読み書きを助ける ICT 機器を活用することで、読み書きの本来の目的である、「読んで理解する」「文章で伝える」などの活動により集中をすることができます。本講座は、GIGA スクール時代における、読み書きに困難を抱える児童らに対する支援について、理論から学校での実践までを学ぶことを目的としています。

日時	令和5年8月17日(木) 9時30分～15時50分 ※ 荒天等で中止の場合の補講日 8月24日(木)
講師	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科コミュニケーション障害学コース 講師 細川 淳嗣
会場	県立広島大学三原キャンパス4号館4101講義室 (三原市学園町1-1)
対象	読み書きに困難を持つ児童・生徒の教育に関わっている小中学校教員, スクールカウンセラー
定員	20名
受講料	3,000円
申込締切	令和5年7月27日(木)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和5年度公開講座「GIGA スクール時代における読み書きに困難を抱える児童・生徒への学習支援」

内容	1	読み書きの困難さと合理的配慮について知る (9時30分～10時40分)	細川 淳嗣
	1コマ目は理論編として、読み書きの困難さの原因、学校などでの生活でどのような様子としてそれらが見られるかについて講義をします。また、合理的配慮の考え方についても解説をします。		
	2	読み書きの困難さへの支援と ICT 機器 (10時50分～12時00分)	細川 淳嗣
	2コマ目は読み書きに困難を持つ児童・生徒に対し ICT 機器を導入するメリットについて解説をします。文字を読むことと内容を理解すること、文字を書くことと文章を構成し書くことというマルチタスクの遂行などの認知神経心理学の知見も踏まえ講義をします。		
	3	支援につかえるアプリや Web サービス (13時00分～14時30分)	細川 淳嗣
3コマ目は読み書きを助けるアプリや Web 上のサービスについて、具体的な使い方や使用申請の方法なども含め、紹介します。また、児童・生徒自身が使うものだけでなく教材づくりにも使えるものも含めて紹介します。			
内容	4	支援や合理的配慮の実際 (14時50分～15時50分)	細川 淳嗣
	4コマ目は3コマ目で紹介したアプリやサービスを使っての支援や試験における合理的配慮や個別支援計画の作成におけるポイントについて事例も交えて講義をします。		
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>荒天等で8月17日(木)が中止の場合は、8月24日(木)に補講を行います。</u> ・ <u>日程変更となる場合は、公開講座係から受講者へ連絡します。</u> ・ 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。 ・ 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。 ・ 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。 ・ 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違っていると感じる場合、出席をご遠慮ください。 <p>※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、やむを得ず、公開講座を中止または延期する場合があります。</p> <p>※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」またはQRコードからお申込みください。</p> <p>https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=800</p>  <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		